

## 平成30年度 事業計画

### 1 基本方針

昨年(平成29年)の11月国内経済の景気回復局面は「いざなぎ景気」を上回り、戦後2番目の長さとなった、との発表が内閣府からありました。鳥取県においては、景気回復に対する実感が乏しく、公共事業費は当初予算ベースでは安定的に推移している一方で、建設投資の偏りが見られ、大都市と地方との事業量の地域間格差や県内に於いても企業間格差が拡大し、地域の建設企業の多くが厳しい経営環境を強いられた年でした。

日本経済の再生に向けた最大のチャレンジと位置づけている働き方改革への取組みを加速させ、建設業における「長時間労働是正」「賃金・休日等の労働条件の改善」「女性等の多様な人材が活躍できる環境整備」等、担い手の確保・育成に向けた課題の取組に、更なる改革の加速化が求められています。建設技術者が年々減少離職者の増加、若手入職者の減少といった社会現象に真摯に取組み、技術者の社会的地位の向上を目指すと共に「建設業の魅力発信事業」を強力に推進し、建設業に思いを抱く若者を増やし、次代を担う人材の確保・育成に努めることが重要であります。

i-Constructionを初めとする建設現場の生産性の向上、技術の研鑽、技術力の向上が今まで以上に求められ、技士会に課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていくためには、何よりも地域建設企業の健全で安定した経営基盤の構築が必要で、そのためには、適正利潤の確保を謳った改正品確法の徹底に加え、我が国の厳しい財政状況下にあっても、事業量の安定的・持続的な確保を建設業協会と一体となり行動をともにし、品質確保に努め良いものを世の中に送ることが不可欠であります。

昨年も度重なる台風の襲来、局所的短時間豪雨災害等の大規模災害が相ついで発生、多くの尊い命と貴重な財産が失われる等、我が国の脆弱な国土における防災体制の強化、減災対策、社会資本整備の重要性が一段と高まっております。

技士会は、地域の安全・安心を守るという社会的使命を果たしていくため、大規模災害等に備えた強靱な県土づくり、地域経済の活性化、地方創生に向け、災害や除雪等への対応に必要な優秀な人材を保持し、常に稼働体制を整えておくことが重要であります。

このような状況を踏まえ、若者が「夢」を持って将来を託せる技術屋集団としての使命と誇りを自覚しつつ、必要な諸施策・諸事業を(一社)全国土木施工管理技士会連合会との連携のもと、安全・安心な県土を築くため、いかなる困難な施工にも迅速・的確に対応出来るよう、常に施工技術の研鑽に励み、次の事業計画を積極的に推進する。

## 2事業概要

### 1 調査研究事業

#### 1) 技術力の向上及び社会的地位の向上

##### (1) 各種研修会・講習会の実施

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ①土木技術に関する講習会等の開催               | 5回  |
| ②技術発表会の開催                      | 1回  |
| ③土木施工管理技術検定試験受験準備講習会<br>(1・2級) | 各1回 |
| ④監理技術者講習の開催                    | 3回  |
| ⑤土木工事現場視察(地区技士会実施)への支援         | 随時  |

#### 2) 工事の安全・品質及び効率の向上

##### (1) 地区技士会が実施する技術研修会及び現場見学会

安全パトロールに対する助成 随時

#### 3) 若年者の入職促進・人材育成

##### (1) 戦略的広報の展開

建設業の魅力を県民・高校生・大学生に発信し、若年者の雇用促進、人材育成の拡大を図るための事業

- ① 高校生への出前講座
- ② 大学生への出前講座(現場見学会、インターンシップ)
- ③ 高校生への進路ガイダンス
- ④ 若者向けリーフレットの活用
- ⑤ 建設業協会主催事業への協賛

##### (2) 行政機関主催事業への協賛

### 2 啓発・支援事業

#### 1) 制度の普及、表彰、情報収集

##### (1) 表彰事業の実施

##### (2) 技術論文の募集・表彰及びその活用

##### (3) ホームページを活用した情報の提供

- ①意見交換会の結果掲載
- ②会員サービスのための技術論文公開
- ③行政庁等からの諸通知、技術に関する資料の掲載
- (4) 会誌「JCMマンスリーレポート」の寄稿募集、配布
- 2) 継続学習制度(CPDS)の推進
  - (1) 継続学習制度に関する情報収集
  - (2) 継続学習制度の管理運営
    - ①学習履歴証明書の発行等

### 3 政策提案事業

- 1) 国・県等の行政機関との意見交換会の開催
  - (1) 技士会連合会(全国・中国)及び行政庁との会議等
  - (2) 県土整備部、工事検査課との意見交換会
- 2) 女性会員の活動
  - (1) 県と女性会員との意見交換会の開催
  - (2) 他県の女性技術者との交流
- 3) 地方機関と地区技士会の意見交換会に対する助成

### 4 セミナー事業……………調査研究事業に記載

- (1) 各種研修会・講習会の実施
  - ①土木技術に関する講習会等の開催
  - ②土木施工管理技術検定試験受験準備講習会(1・2級)
  - ③監理技術者講習の開催

### 5 その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 組織拡充のための活動
- (2) 委員会
  - ① 総務委員会
  - ② 技術委員会
  - ③ 研修委員会

# 平成 30 年度 総務委員会事業計画

## 【事業計画 概要】

### 1) 会の基盤の拡充

- ・一般社団法人・技術者としてのガバナンス、コンプライアンスの徹底
- ・各地区技士会の活動について支援
- ・会員メリットによる入会促進

平成 30 年度研修・講習会計画ポスターと併せて会員メリットのパンフレットを配布する。

- 〔 CPDS 制度の活用と普及
- 技士会講習会の普及

### 2) 平成 30 年度 定時総会の開催

- ・定款（第 13 条）による定時総会 平成 30 年 5 月 22 日開催（倉吉シティホテル）

### 3) 会員の表彰

- ・表彰規程等による表彰

《功労賞》平成 30 年 5 月 22 日（倉吉シティホテル）定時総会開催日

長年にわたり役員、委員会の委員として尽力した技士会員及び事務局職員

《業績賞》第 29 回建設技術発表会時に表彰（11 月中旬予定）

優良工事受賞者の工事担当技士会員

### 4) 関係行政庁、団体等との連絡調整会議の開催と参加

- ・（一社）全国土木施工管理技士会連合会
- ・中国土木施工管理技士会連合会

### 5) 技術情報の提供に関すること

- ・（一社）全国技士会連合会発行機関紙及び技術図書、資料関係
- ・各行政庁及び関係団体からの諸通知、技術に関する資料関係
- ・CPDS 制度に関する情報提供
- ・ホームページによる迅速な情報提供

### 6) （一社）全国土木施工管理技士会連合会の実施する事業への協力

- ・平成 30 年度「監理技術者講習」他

### 7) 女性会員の活動

- ・全県合同会議の開催
- ・他県の女性技術者との交流
- ・県土整備部と女性会員との意見交換会
- ・各県土整備局担当職員との意見交換会（各地区技士会開催）

## 8) 若年層の入職促進・人材育成について

(1) 人材確保・育成対策 「建設業の魅力発信事業」(建協会と共催)

### ① 戦略的広報の展開

イ) 「鳥取県建設業魅力発信事業」

- ・ 高校生への出前講座
- ・ 高校生への進路ガイダンス
- ・ 大学生への出前講座(現場見学会、インターンシップ)

ロ) 「鳥取県建設労働者等スキルアップ研修事業」

- ・ 1.2級土木施工管理技術検定試験受験準備講習会 受講者へ受講料3万円助成

ハ) 「鳥取県建設労働者等スキルアップ研修フォロー事業」

- ・ 40歳以下の人が2級土木施工管理技士資格を取得するために、県が実施する研修を受講する際、研修期間中受講者の業務をフォローする者の人件費の一部を助成  
(10千円/日×受講日数)

二) 会員による広報活動

- ・ 若者向けリーフレットの配布及び活用

(2) 鳥取県事業への協賛

## 9) 総務委員会の開催

- ・ 技士会運営等について必要に応じて随時開催

## 10) その他

- ・ 各委員会に所掌しない事項に関すること
- ・ 関係団体への委員の選出

# 平成 30 年度 技術委員会事業計画

## 【事業計画 概要】

### 1) 建設技術交換会の開催について

- ・意見交換会 良質な社会資本整備を円滑に推進する為、施工管理に係る技術的事項について関係機関と意見交換会を開催。  
各地区技士会と各地方機関との意見交換での課題、及び各地区技士会から議題を募り県土整備部、工事検査課等と意見交換会を行う。
- ・三者交流会 発注者・測量設計者・施工者の三者による交流会の開催、各地区技士会で対応。

### 2) 若年層の入職促進・人材育成について

- (1) 人材確保・育成対策 「建設業の魅力発信事業」 建協会と共催：技士会会員から講師派遣
- ・高校生への出前講座
  - ・高校生への進路ガイダンス
  - ・大学生への出前講座（現場見学会、インターンシップ）

### 3) 第 29 回建設技術発表会の開催

- ・開催日 平成 30 年 11 月中旬
- ・主催 (一社)鳥取県土木施工管理技士会
- ・後援 国土交通省鳥取県内各事務所、鳥取県、鳥取県建設技術協会  
(公財)鳥取県建設技術センター
- ・発表者 会員 5 名、国交省、県、(公財)鳥取県建設技術センター各 1 名 計 8 名
- ・会員表彰 業績賞を同日表彰

### 4) 第 69 回中国地方技術研究会への参加

- ・主催 国土交通省中国地方整備局
- ・目的 中国地方整備局管内技術研究会、中国地方整備局及び県内の所掌する技術に関する調査・研究・開発の成果発表及び建設技術に関する創意工夫の提案等を行い、技術向上と普及を図る。

### 5) (公財)鳥取県建設技術センターへの支援・協力

- ・公益財団法人鳥取県建設技術センター  
[理事] 川瀬香織 (榊若松組 平成 30 年 5 月まで)  
[建設技術研修検討委員] 中村専務理事

### 6) 行政庁関係機関等との各会議の技術的な支援

- ・平成 30 年度中国土木施工管理技士会連合会と行政庁との意見交換会
- ・行政庁からの技術的内容を会員へ周知

## 7) 中国地方建設技術開発交流会への参加

- ・主 催 中国地方建設技術開発推進会議
- ・目 的 中国地方建設技術開発推進会議は官・学・民の技術交流を図り、技術開発の推進、新技術の普及、技術力の向上への交流会を開催（各県で開催）

## 8) 建設技術講習会への参加

- ・主 催 全日本建設技術協議会中国地区連合会
- ・目 的 建設技術水準並びに建設技術者の地位の向上等を目的

## 9) 第12回鳥取県県土整備部測量競技会への参加

- ・測量技術の向上を目的に、県及び市町村の技術職員等を対象に行われる
- ・11月中旬倉吉市で開催予定 監督1名、競技者4名で構成

## 10) 土木施工管理技術論文の募集及び

「JCMマンスリーレポート(現場の失敗)」の寄稿募集

- ・(一社)全国土木施工管理技士会連合会

## 11) 技術委員会の開催

- ・技術的は諸課題の検討及び協議（随時開催）

## 12) その他

- ・各委員会に所掌しない事項に関すること
- ・関係団体への委員の選出

鳥取県生コンクリート 品質管理監査員：5名 特別委員：会長  
コンクリート耐久性等の品質向上検討委員会委員  
新技術等実現化調査検討委員会委員

## 平成30年度 研修委員会事業計画

### 【事業計画 概要】

#### 1) 会員の技術力向上を図るための講習会

(※ ◆印/継続学習「CPDS」認定講習会 ●印/鳥取県の加点予定研修)

- (1)平成30年度 土木施工管理技術検定受験準備講習会 [1級] ◆  
平成30年6月5日～7日 (中部地区会場)
- (2)平成30年度 土木施工管理技術検定受験準備講習会 [2級]  
平成30年9月11日～13日 (中部地区会場)
- (3)コンクリート工 ●◆ 平成30年4月20日、24日 (倉吉未来中心)
  - ・コンクリートの科学的基礎知識
  - ・養生方法等について
  - ・コンクリート構造物の補修技術について
- (4)工事検査 ●◆ 平成30年6月12日、13日 (倉吉体育文化会館 以降略称：倉吉体文)
  - ①工事検査の留意点について
    - ・工事検査の留意点と成績評定
    - ・加点になる創意工夫実施事例
  - ②国、鳥取県の工事検査要点と対策について
    - ・電子納品に対する検査方法の解説
  - ③高度技術・創意工夫・社会性の活用事例について
- (5)新技術・新工法及び道路工に関する設計施工 ●◆ 平成30年7月3日、4日 (倉吉体文)
  - ①新技術・新工法・新アイテム等の紹介、活用事例について
  - ②道路土工、舗装工に関する設計施工について
    - ・路床工から舗装までの設計・施工管理の留意事項
- (6)建設業法と安全管理 ●◆ 平成30年8月28日、29日 (倉吉体文)
  - ①建設業法について
    - ・建設業のコンプライアンスについて(具体的事例)
  - ②安全管理について(具体的な事例)
    - ・自然災害発生時の対策
    - ・災害経験者からの教訓等
    - ・事故を減らすための対策
    - ・事例による安全対策、安全活動
    - ・事故等に対する救命及び応急手当等の知識(熱中症の初期対応等)



(7) ICT活用工事 ●◆ 平成30年9月3日、4日（倉吉体文）

① ICT活用工事について

- ・ ICT活用工事現場の実際の施工の流れ、留意点
- ・ 3次元測量、レーザースキャナー、航空測量、3Dデータの作成及び設計、3Dデータの活用
- ・ ICT建機による出来形測量時、成果品作成時の留意点

② 土工及び盛土工の品質管理（ICT技術の活用）について

(8) 監理技術者講習 ◆ 主催：（一社）全国土木施工管理技士会連合会

倉吉会場：平成30年6月19日（倉吉体文）

米子会場：平成30年10月4日（米子食品会館）

鳥取会場：平成31年2月19日（とりぎん文化会館）

## 2) 技士会講習会の普及

- ・ 講習会受講生の拡大

## 3) 若年層の入職促進・人材確保について

① 鳥取県建設労働者等スキルアップ事業

1. 2級土木受験準備講習会で、40歳以下の受講者へ受講料3万円の助成

② 鳥取県建設労働者等スキルアップ研修フォロー事業

40歳以下の人が2級土木施工管理技士資格を取得するために、県が実施する研修を受講する際、研修期間中受講者の業務をフォローする者の人件費の一部を助成  
(10千円/日×受講日数)

## 4) 研修委員会の開催

- ・ 研修・講習会について検討及び協議（随時開催）

## 5) その他

- ・ 研修テスト判定（会長、各地区会長）

講習終了後判定会議で協議をし、鳥取県県土整備部長へ申請